

家族でデイキャンプ満喫

昼食作りやカヌー体験楽しむ

紀北町は5月29日、便ノ山のキャンプinn海山でデイキャンプのモニターツアーを実施。地元家族連れ4組がキャンプならではの料理やカナディアンカヌーを体験し、身近にある自然を満喫した。

アウトドアブームに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてマイクロツーリズム（近場の旅行）への注目が高まっていることから、商工観光課が地元のキャンプ場を町民に知ってもらおうと、同施設を運営する

ふるさと企画舎の協力で行った。

午前10時から始まり、家族ごとにタッチオーブンや飯ごうを使って昼食を作った。親に見守られ

ながら、子どもが包丁で切ったジャガイモやニンジン、ブロッコリーを鶏肉と一緒に鍋に入れ、鍋で吊るして蒸し焼きにした。



飯ごうでご飯をたく参加者

飯ごうは箱型のもので、土台に置いて固形燃料を使ってご飯をたいた。おこげつきのご飯を食べ「いつもよりおいしい」と笑顔で話し合っていた。

昼食を終えた後はカナディアンカヌーに乗り込み、家族で力を合わせてパドルをこいで川を自由に進んだ。子どもたちは「水がすごいきれい」と大喜びで、箱メガネで水中をのぞきこみ、魚やエビなどを夢中で探していた。

紀北町島原の武岡秀弥さんは「友人に誘われて家族で参加したが、今日は来てよかった。なかなか地元のキャンプ場は来る機会がないし、ほかの家族とも仲良くなれてよ



カヌーで川に下り出す

かったこと笑顔で話した。企画した商工観光課の瀧田多実博さんは「地元にあるキャンプ場の魅力をぜひ町民にも知ってもら

りたい。今後はさまざま取り組みを通じて、自然をいかした観光推進につなげていきたい」と語った。